

環境事業団が定める受入基準及び受入計画について

環境事業団は、北九州市と締結した「北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る環境保全に関する協定」に基づき、

安全で適正な P C B 廃棄物の収集運搬及び受入のための
北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設（第 1 期）に係る受入基準

P C B 廃棄物の計画的な処理を行うための
北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設（第 1 期）に係る受入計画

を作成し、平成 1 6 年 3 月 2 2 日に北九州市のご承認を頂きました。

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設（第１期）に係る受入基準（概要）

1 搬入者

処理施設にＰＣＢ廃棄物を搬入できる者は、
環境事業団が、関係法令、収集運搬ガイドライン及び受入基準（以下「受入基準等」という。）を遵守することができると認定した収集運搬事業者^{（ ）}。
市や搬出元の自治体が認めた自己搬入を行う保管事業者。

2 受入対象物

受入対象物は、第１期の処理施設で処理が可能な高圧トランス、高圧コンデンサ及びＰＣＢを含む油等。

3 運搬容器

運搬容器は、安全性や効率性を考慮した、寸法、重量、材質（ステンレス製）、構造（密閉構造、吸収材の使用）の漏れ防止型金属容器を用いる。

* 漏れ防止型金属容器に収納できない場合は、漏れ防止型金属トレイを用いる。

4 ＧＰＳシステム

運搬車両は、運行状況等の情報を発信する装置であるＧＰＳにより、運行経路が確認でき、緊急時に関係者に通報できるシステムを完備する。

5 収集運搬の安全の確保等

搬入者は、収集運搬に従事する者に対して、ＰＣＢ廃棄物を安全かつ確実に取り扱いできるように受入基準等の必要な教育を行うこと。

搬入者は、必要な教育を受けた収集運搬に従事する者及び受入基準等に適合した機材を用いて、収集運搬を行うこと。

6 搬入経路等

搬入者は、北九州都市高速道路に入る際の料金所や北九州市若松市民会館前等の特定の地点を通過する際に車両の位置情報を発信し、確実に運搬されていることを環境事業団に通報する。

（ ）処理施設への入門を許可する収集運搬事業者の認定要綱（概要）

- 1 ＰＣＢ廃棄物の収集運搬業の許可を得ていること。
- 2 関係法令、環境省が定めるＰＣＢ廃棄物収集・運搬ガイドライン及び受入基準を遵守すること。
- 3 環境事業団が定める業務マニュアルに従って、搬入日の調整や現場確認等を行えること。
- 4 事故等による損害を賠償する、自動車保険その他の適切な保険に保険金額３億円を下限として加入していること。

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設（第１期）に係る受入計画（概要）

1 受入開始時期について

- （１）操業開始時期を平成１６年１２月１日とする
- （２）試運転計画を北九州市と協議の上決定する。
試運転に用いる PCB 廃棄物は平成１６年７月中旬から受け入れる。

2 計画的な受入について

- （１）PCB 廃棄物の受入は、処理施設を構成する設備、機器の能力を勘案して適切に行うとともに、施設の処理能力を超えないように行う。
- （２）PCB 廃棄物の平均的な処理台数

大型トランス（車載型トランスを含む。）	1 台/3 日
中・小型トランス	2 台/3 日
コンデンサ	12 台/3 日
廃 PCB 等	ドラム缶 2 個/3 日

3 受入 PCB 廃棄物の見込み量等について

- （１）PCB 廃棄物の受入に当たっては、まず北九州市の区域内、ついで福岡県の区域内の PCB 廃棄物の受入を先行して処理することを基本とする。
- （２）平成１６年度については、次のように処理見込み量を予定している。

大型トランス（車載型トランスを含む。）	30 台
中・小型トランス	30 台
コンデンサ	400 台
廃 PCB 等	ドラム缶 60 個
- （３）平成１７年度以降についても、上記２．（２）に記した平均的な処理台数を基本として、PCB 廃棄物の受入を行う予定。
- （４）保管事業者に対する処理事業の周知・徹底により、操業開始年度に予定している処理見込み量の達成を図る。

4 受入実施計画について

各月別受入 PCB 廃棄物の詳細（保管事業者名、受け入れる PCB 廃棄物の種類・量等）を示した受入実施計画を、前月の末までに北九州市環境局長に報告する。